

2010年度

科目名	図書館サービス論		
担当教員	前川 和子		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	54680
開期	後期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	現在公共図書館を中心に提供されている各種サービスを、日本を中心に具体的に解説する。		
目的と概要	情報を求めて図書館に来る利用者に、図書館はさまざまなサービスを提供する。その目的は、個人的および自主的な教育を支援、子どもたちの読書習慣、文化遺産の認識、芸術・科学上の業績や革新についての理解、個人の創造的な発展のための機会を提供すること、などにある。		
成績評価法	各回的小レポート50%、期末試験50%を、あわせて評価する。		
テキスト	図書館サービス論(新図書館学シリーズ;3)/高山正也/樹村房		
参考書	必要に応じて提示する。		
履修に当たっての注意・助言	日頃使用している図書館を、資料・情報の提供サービス機関として注意深く観察すること。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館サービスの意義：テクニカルサービスとパブリックサービス</li> <li>2. 図書館サービスの要素・諸相：図書館サービスを支えるもの</li> <li>3. 種類：形態別サービス（1）閲覧、貸出、移動図書館（自動車図書館）</li> <li>4. 種類：形態別サービス（2）情報サービス：レファレンスサービス、利用し同・利用者指導、その他</li> <li>5. 種類：利用対象別サービス（1）幼児・児童に対するサービス</li> <li>6. 種類：利用対象別サービス（2）ヤングアダルト・サービス</li> <li>7. 種類：利用対象別サービス（3）一般成人 近年の公共図書館サービスの特徴：市政に対するサービス</li> <li>8. 種類：利用対象別サービス（3）一般成人 近年の公共図書館サービスの特徴：ビジネス支援、健康情報</li> <li>9. 図書館利用に障害を持つ人々への支援：アウトリーチ・サービス、高齢者サービス</li> <li>10. 図書館利用に障害を持つ人々への支援：多文化サービス</li> <li>11. 図書館利用に障害を持つ人々への支援：障害者サービス</li> <li>12. 著作権</li> <li>13. 図書館ネットワーク</li> <li>14. 図書館サービスの測定と評価</li> <li>15. 変化する図書館サービス</li> </ol>			